

噂の温浴施設の
実力に迫る!

第4弾 

婦人科クリニックが導入! 天然温泉薬石浴を

女性自身

体調がよくなった、肌がきれいになった、そして女性特有の悩みにも……



おひたしいほどの汗が流れ、体内にたまった有害物質や老廃物が排出され、十分なミネラルが吸収される。

建物の方位や建築工法、人体の健康にも影響を及ぼすといわれる磁場にも考慮するなど、心身ともに癒される環境づくりが徹底されている。

院長の西谷雅史先生に、お話をうかがってみました。

汗が驚くほど出て、体調や肌が見違えるほど整うと噂の「天然温泉薬石浴」が、この秋、産科・婦人科クリニックに導入されることが決まった。こうした温浴施設が医療現場に取り入れられるのは、大変めずらしく貴重なこと。なぜ実現したのか? 「天然温泉薬石浴」の本当の実力は? 取材してきた。

「天然温泉薬石浴」を導入することを決めたのは、札幌の円山公園近くの閑静な住宅街にある「響きの杜クリニック」。西洋医学だけでなく、漢方を中心とする東洋医学、西野流呼吸法、音楽温熱療法、カウソンセリング、フラワーエッセンス、アロマセラピー、超低周波治療などの代替医療を組み合わせた多彩な診療を行っており、体と心の両面からサポートすると評判の産科・婦人科クリニックだ。女性特有の病気にも力を入れている。

「体に現れた症状に対して西洋医学は即効性がありますが、根本的な原因を解決しなければ、本当に回復したとはいえません。本人の生活習慣の見直し、病気になるらない体を作

天然温泉薬石浴「嵐の湯」は女性 の病いにもいい結果 が出ると期待しています。



響きの杜クリニック院長・医学博士 西谷 雅史 (にしや まさし) 先生

1956年東京都生まれ。北海道大学医学部卒業。北海道大学医学部産婦人科講座助手、札幌厚生病院産婦人科主任を経て、2006年10月16日「響きの杜クリニック」を開院。人間の自己治癒能力に働きかける代替医療を現代医療に取り入れた統合医療を行っている。日本産婦人科学会認定医、日本ホメオパシー医学会認定医、ホロトピック・ネットワーク札幌代表、西野並札幌同好会代表。
ホームページアドレス <http://www.hibikinomori.jp>

ることも重要です。だから私のクリニックでは、さまざまなアプローチを取り入れていきます。私が「天然温泉薬石浴」に着目したのは、体を深部から温めることで免疫力が高まると考えたからです。体温と免疫力には密接な関係があります」

風邪をひいたとき熱がでるのは、体温を上げて免疫機能を活発にすることで病原菌を抑えようとする体の反応。体温を上げることは私たちの体に備わっている自然治癒力のひとつだが、現代人は体が冷えやすい環境にあるため、こうした機能がうまく働かなくなっており、体の不調が悪化してしまいう傾向にある。

「病いの多くは、体が冷え、免

疫が衰えたことが影響しています。特に女性の病いは、低体温が原因になっているものが多いですね。不妊症も冷えからきている場合があります」

骨盤のなか冷えると血流が悪くなり、痛みが出る。生理痛や月経困難症、そして不妊などにもつながっていく。

これらの症状の場合、体を温め血流を促すことでよい結果をもたらすこともあるという。体を温めることは、免疫力を高め、健康な体を取り戻すのに欠かせないことなのだ。

数分で汗が滴り、体が温まる。これはいいものだと実感しました

西谷先生が「天然温泉薬石浴」のことを知ったのは、友

人の話を聞いたのがきっかけだった。

「東京に出かけていた友人が、疲れて体調が悪くなったとき、六本木にある「天然温泉薬石浴」の「嵐の湯」に入ったら、すごく元気になったと言っています。その友人のご家族には深刻な病いに悩まされている方がいらつしゃったのですが、その方も友人にすすめられて通い始めたら、体調がかなりよくなったらしいんです」

その話に興味をもった西谷先生は、自ら「嵐の湯」に入りに行った。

「横になって、ものの数分もしないうちに汗が湧いてきました。サウナは、汗が出るまでの時間がつらいなど思うのですが、ここは大変呼吸がしやすく、いつまでも入っていたい気分になり、不思議な感覚でした。かなり大量の汗が滴るように出て、足の裏まで水浸しみたいな感じでした。もちろん体も温まりました。

漢方治療の原則に、汗を出すことで悪いものを出すという考えがあります。いわゆるデトックスです。実際に体験し、これは本当にいいものだと実感しましたね。患者さんたちにもいい結果がでるのではないかと考えたのです。だからこの「天然温泉薬石浴」の「嵐の湯」をクリニックに取り入れることに決めたのです」

体が温まって免疫向上。「嵐の湯」で健康になった」の声が続々と……

天然温泉薬石浴の「嵐の湯」には、さまざまな現代病で苦しんでいた人たちがから多くの喜びの声が届いている。

20年前から糖尿病や腰痛、脂肪肝に悩まされていた松田宣修さん（57歳）だが、いまは体調のよさを実感している。



松田宣修さん

「こんなに変化があるとは思わなかったのうれいですが、つらかった腰痛が、軽くなりましたよ。人間ドックで受けた検査でも、1年前よりも血糖値が下がり脂肪肝の状況もだいぶよくなっています。『嵐の湯』に巡り合っ

天然温泉薬石浴「嵐の湯」の仕組み
(特許申請実用新案登録技術)

天然温泉100%+鉱石ミネラル原液

25cm~50cmの薬鉱石15種類

温水熱源

噂の温浴施設 実力に迫る!

第4弾



伊藤静子さん

よかったです」
「つらい膝の痛みを抱えていた伊藤静子さん（58歳）にも変化が現れた。
「私は仕事から立ち歩きが多く、足が弱いのに無理をして、膝に水がたまってしまうので、電気治療などもしていました。そんなとき、近所の方から教えてもらったのが「嵐の湯」でした。2日目には疲れがとれ、足の腫れも引き、曲げられるようになり、びっくりしました。一緒に行った友人も驚いていました」

ひどいガサガサ肌だった関戸ひとみさん（12歳）も、きれいな肌を取り戻した。
「11歳のときに薬をやめたら、顔も体もいつきにひどくなっ



関戸ひとみさん

て大変でした。5日間続けて入っただけなのに、黒くガサガサしていた肌がよくなりました。きれいになって、うれしいです」
ほかに「体脂肪が減った」「病後の回復が早かった」「肩こりや疲れがとれた」といった声もある。

こういった現象について前出の西谷先生は、
「体を温め、大量の汗を出すことで免疫が高まり、健康につながったと思われます。代替医療として活用されている健康法はいくつかありますが、きちんとしたデータがあるものはほとんどありません。だから、私は自分のクリニックに「嵐の湯」を導入することで臨床データをとり、有効な手段であることを立証してみたいですね。いい結果が出る」と確信しています」

クリニック内の天然温泉薬石浴「嵐の湯」は、10月末ごろに完成する予定だ。

温泉と鉱石のミネラルをたっぷり吸収。子供や高齢者にも最適。

今回、「響きの杜クリニック」

選び抜いた15種類の薬鉱石と 天然温泉の力で大量発汗! 「嵐の湯」で健康デトックス



が導入する天然温泉薬石浴「嵐の湯」は、岩盤浴の玉川温泉の中核を担う旅館のひとつ、「秋田玉川温泉湯治館そよ風」と、薬石風呂の名家として有名な温泉旅館「山形東根温泉たびやかた嵐湯」が業務提携して誕生したもの。
15種類の薬鉱石を厚く敷きつめ、普通は水道水で保っている湿度を、毎日温泉地より

取り寄せている100%の天然温泉を用いているのが特徴。この15種類の薬鉱石は、石博士として名高い理学博士の川田薫先生が、それぞれがもつ鉱石のエネルギを考えたもつとも効果的になるように何年もの歳月をかけて選び抜いたもの。薬効鉱石に天然温泉をしみ込ませて温熱で蒸発させ、鉱石と温泉両方のミネラルを人体に取り入れる技術は世界初。このシステムの特許を申請中で、実用新案登録済みである。

殺菌効果もある天然温泉で、30分おきに高圧洗浄をしており、常に清潔に保たれているから衛生面でも安心だ。冷え性、痛み、ガサガサ肌、体調不良という悩みを抱えている人たちがクチコミで訪れることが多い。室温45℃で呼吸がラクなので、子供やお年寄りにも最適だ。

現在、「嵐の湯」は全国に41カ所あり、健康と美を願う人たちが、どこにもぎわいを見せている（詳細は、嵐の湯東京本部 ☎03・3548・1114 または六本木店2F ☎03・3404・1126まで）。

「響きの杜クリニック」以外にも導入を計画しているクリニックがいくつもある。医療関係者からの評価が高く、今後の展開がますます注目されている。